

第2次能代市環境基本計画

「みんなでつくり 次世代へつなぐ
環境のまち のしろ」

平成30年3月

能代市

はじめに



本市では、平成20年3月に「能代市環境基本計画」を策定し、市民及び事業者の皆様とともに、この計画の目指すべき環境像である「豊かな自然と共生し、安全で安心して住める環境のまち のしろ」の実現に向け取り組んでまいりました。

策定から10年が経過した現在、気候変動に象徴される地球温暖化の進行、里山の荒廃や生態系の変化といった、新たな状況が生じてきております。また、平成23年3月に発生した東日本大震災は、従来の環境政策に大きな影響を与え、環境問題と密接な関係にあるエネルギー供給についても、省エネルギーや再生可能エネルギーなどの取り組みの重要性が高まってきております。

本市においても、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築を目指し、行政、事業者、そして市民一人ひとりが連携を図りながら、より一層取り組みを進めていく必要があると考えております。こうした状況を踏まえ、本市では、健全で恵み豊かな本市の環境を次世代に引き継ぐため、「みんなでつくり 次世代へつなぐ 環境のまち のしろ」という目指すべき環境像を掲げ、「第2次能代市環境基本計画」を策定いたしました。本計画の実現に向け、引き続き市民及び事業者の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本計画の策定に当たり、ご審議をいただきました能代市環境審議会の皆様、貴重なご提言をいただきました能代市環境のまちづくり市民懇談会の皆様をはじめ、市民、事業者の皆様に深く感謝を申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年3月

能代市長 齊藤 滋 宣

目 次

序 章 計画の基本的な考え方

1 計画策定の趣旨	2
2 計画の性格と役割	4
3 計画対象期間	6
4 計画対象地域	6
5 計画対象とする環境範囲	6
6 各主体の役割	7
7 計画の構成	8

第1章 計画の現況と課題

1.1 能代市のすがた	10
1.2 第1次計画の検証	14
1.3 環境要素ごとの現況と課題	16
1.4 課題の整理	34

第2章 計画の目指すもの

2.1 目指すべき環境像と基本目標像	38
2.2 環境施策の体系	40

第3章 環境施策の展開方向

3.1 豊かな自然を守り共生するまち	42
3.1.1 身近な自然環境を守ります。	42
3.1.2 里地里山、森林や農地の保全に努めます。	43
3.1.3 自然を積極的に活用します。	43
3.2 健康で安心して暮らせるまち	44
3.2.1 よりよい生活環境を創出します。	44
3.2.2 安全な食と水の確保に努めます。	45
3.2.3 環境リスクの軽減に取り組みます。	46
3.3 資源を大切にし、資源が循環するまち	47
3.3.1 ごみの減量と資源化に取り組みます。	47
3.3.2 省エネルギーを励行します。	48
3.3.3 再生可能エネルギーの導入を進めます。	49
3.4 環境について学び、自ら行動できるまち	50
3.4.1 環境学習の振興を推進します。	50
3.4.2 環境保全団体等の育成を図ります。	51
3.4.3 きれいなまちづくりを進めます。	51

第4章 重点環境施策

4.1 重点環境施策の位置づけ	55
4.2 重点環境施策の内容	56
4.2.1 身近な自然環境に対する意識の高揚を図り、自然との共生に取り組みます。	56
4.2.2 安全・安心な食の提供と地産地消の推進に取り組みます。	58
4.2.3 廃棄物の減量化に取り組みます。	60
4.2.4 温室効果ガス排出量の抑制に取り組みます。	62
4.2.5 ごみのないきれいなまちづくりに取り組みます。	64
4.2.6 環境に関する情報発信の強化に取り組みます。	66

第5章 計画の実現に向けて

5.1 市民・事業者・行政のパートナーシップ	70
5.2 推進体制の整備	70
5.3 広域的な協力・連携	71
5.4 計画の進行管理・見直しの実施	71
5.5 環境に関する情報の公開	71

資料編

1 第2次能代市環境基本計画策定の経過	74
2 能代市環境審議会委員名簿	75
3 能代市環境のまちづくり市民懇談会委員名簿	76
4 用語解説	77